

G3チャレンジC

<最終見解>

本命はガイアフォース。

サンデー系×ヴァイスリージェント系の組み合わせは同じコースの G1 大阪杯でも好成績。

当レースはスタミナ指向の血統馬が走りやすいレース傾向ですが、このクラスの馬なら普通に力を出すでしょう。

G2ステイヤーズS

<最終見解>

本命はキングズレイン。

父のルーラーシップはミスプロ系×トニービン。
当レースを3連覇したアルバートの父アドマイヤドンと近い配合。

母母父のサドラーズウェルズも当レース傾向にマッチする血統。

最内枠は少し懸念材料ではありますが、
それが大きなロスにはならないほど、
上昇分も含めて力が違うと判断しました。